

※水色と黄色のセルは回答必須。薄緑色セルは任意。申請書の段階から項目3に変更があった場合、直接入力の上書きして下さい。

(一財)全国地域情報化推進協会 御中 報告日 2019年8月8日

派遣決定番号

地域情報化アドバイザー制度活用報告書(1日目)

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

団体名	大船渡市	代表者名	戸田 公明
担当者部署	総務部	連絡先電話番号	0192-27-3111
担当者役職		担当者氏名	
住所	O22-8501 岩手県大船渡市盛町字津野沢15番地		
連絡先E-mail			

1-2. 推薦団体(「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力)

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

アドバイザー	濱田 真輔
評価	大変よい
上記評価の理由(どのよう なところがよ かったか等詳 細に)	<ul style="list-style-type: none"> 一般的な社会情勢から当市役所への影響へと、受講者一人ひとりが当事者意識をもって課題認識できるよう工夫していただいた。 認識した課題を解決するため、自らどのように行動したらよいか、現実をふまえて思考する機会を与えていただいた。 とりわけ、予測不可能な情勢の中で、様々な情報を駆使して何をなすべきかを判断し、行動しながら状況により改善(または廃止)し続けることが、管理職員に求められると強調された。
アドバイザーへの要望事項	<ul style="list-style-type: none"> 今後とも、一人ひとりが当事者意識をもって組織改革に取り組む意欲の喚起をお願いいたします。

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

	派遣日	開始時刻	終了時刻	内休憩時間(分)	活動時間(分)
3-1. 活動	2019年8月2日	8時30分	17時00分	90	420
3-2. 派遣場所	会場名	大船渡市役所		最寄駅	JR盛駅
	所在地	岩手県大船渡市盛町字津野沢15番地			
	最寄駅からの交通手段	公用車			

4. 報告書に関するAPPLICホームページへの掲載許可

掲載許可	<input type="radio"/> 掲載可
------	---------------------------

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

5-1. 支援を受けた対象者	属性(職員、一般、企業等)について【自由記述】	人数
	市部課長級職員(管理職員)	38人
5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果		
事業の課題・問題点 (具体的にご記入下さい)	(1) 行政事務の改革・改善の必要性が理解されず、手法に関する知見も少ない (2) 行政事務へのICT技術の導入が進まず、生産性が向上しない (3) 縦割り意識が根強く、大胆な改革・改善が進まない (4) 行政事務の改革・改善に関し、職員の意見が出ない、共有されない、実現しない	
支援により目指す成果 (具体的にご記入下さい)	市の管理職員に (1) 地域情報化の進展に係る社会情勢を理解させ、 (2) 当市役所の課題(組織、事業、業務、事務のあり方等)を考えさせ、 (3) 課題解決のための具体的な行動(変革)を促す	
アドバイザーに支援を受けた内容 (具体的にご記入下さい)	・「我々は今後何を目的に活動すべきか?」というテーマで、レクチャー、グループワークを行った。	
支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい)	・災害復興の収束や人口減少による財政や人員への影響を踏まえつつ、市行政の顧客(ステークホルダー)にとっての価値、市の使命、課題等について、アドバイザーの支援を得ながら、受講者が個々に思考し、グループで共有した。	
具体的な成果物	最も当てはまるものをリストより選択下さい。	⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない
改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください)	・今回は、1回目の研修の受講生(部課長級職員)に課長補佐級職員を加え、受講者個々が思考した「使命」「顧客の価値」「課題」「目標」を元に、部局ごとに最重要課題1件を選定し、解決のための具体的な行動を協議することとしている。	
アンケートの内容と分析結果	講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。) アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 ・未実施(三回シリーズの研修としており、アンケートは最終回に実施予定のため)	
5-3. 今後の計画	最も当てはまるもののリストより選択下さい	④予算以外で、今後取り組む事項がある
事業の最終的な目指す姿	・最終目標: ICT技術の活用により市の行政事務効率が向上し、職員がやりがいを感じながら真に取り組むべき業務を遂行できる職場環境が整う。	

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真（JPEG）」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

